

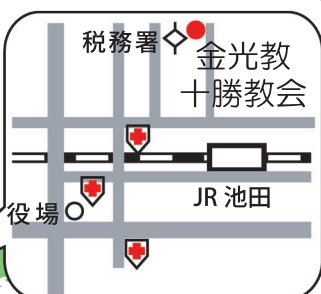
No.71, 2016, Nov.,

11 月・生神金光大神大祭号

TEL 015-572-2322
FAX 015-572-4213



Facebook「金光教十勝教会」



金光教十勝教会
〒083-0001
池田町旭町 1-9

<http://city.hokkai.or.jp/~mtamaki/kyokai>

十勝教会 だより 71



facebook



HP(PC 専用)

平成二十八年 生神金光大神大祭を迎えて

金光教十勝教会

私はおかげの受けはじめであります。あなた方もそのとおりにおかげが受けられます。

(金光教教祖御理解集Ⅰ・徳永健次の伝え)

金光教の教祖は生神金光大神様です。「生神金光大神」とは神様からいただいた御神号で、本名は赤沢文治といいました。

教祖様が自身が「私は、何も知らぬ、土を掘る百姓であります」



金光教教祖奥城 (お墓)
教祖生神金光大神様は明治
16 年 10 月 10 日、70 歳で
帰幽されました

と言われるとおり元々お百姓の香取家の次男としてお生まれになり、12 歳のときに同じお百姓さんの川手家(後の赤沢家)の養子になられました。

当時の小さな農家の暮らし、さらに養子として入られた教祖様のお心はどうのようであつたでしょう。

長じて家督を継がれてからは、今という農業経営の才を発揮され、村でも有数の農家になられます。しかしその反面、子供や家族 5 人が次々と亡くなり、当時の農業に欠かせない牛まで相次いで失ってしまいます。そして、とうとう教祖ご自身が重病に罹り死ぬか生きるかという状態なつて

しまいます。その病の床で天地金乃神様と出会われ、そこから神様との関係、信心がはじまるのですが、後に教祖様は「養父親子、月ならびに病死いたし、私子三人、年忌^{ねんぎ}年には死に。

（略）

医師にかけ治療いたし、神々願い。祈念祈念におろそかもなし。神仏願いてもかなわず。いたしかたなし。残念至極と始終思ひ暮らし。」
と天地金乃神様に会われる前のことを回想されています。

○

教祖様のような方であっても当初は「始・終・残・念・至・極」と思ひ悩まれていたのです。そういう辛い思いをされていた教祖様は、天地金生神様に会われて

からは、神様の仰せのまま信心を進め、氏子を助ける働きを現していきました。しかし、その間も家族の問題、教祖を囲む人々の問題、世情の変化による布教差し止めなど様々な問題に遭^あわれたのでした。

教祖様が神様に会われるまでの一農民としての苦悩、苦難、神様と出会われてからの金・光・大神としてのご苦労、いずれも大変なものであったと思われるのが、最後には神様から「（金・光・大神は）天地金乃神同様（同格）」、「金光大神ができたからこそ氏子が助かることになり」とまで言われるまでになりました。

○

教祖様と同じく、天地金乃神様を信心する私たちは、神様に出会い、神様に助けていただく

ためにも教祖様のように大変な苦労、辛抱をしなければいけないのでしょうか。

教祖様は「私はお・か・げの受けはじめであります。あなた方もそのとおりにお・か・げが受けられます。」と仰っておられます。

そう、教祖様は「受・け・は・じ・め」でした。つまり、それまでは、天地金乃神様のお・か・げの受けかたを知っている人がいなかったのです。

どの分野でも、まだ誰もやったことがない、誰も知らないことを最初に始めた人、先駆者の苦労、苦難は大変なものがあります。それまでは天地金乃神様のお・か・げの受けかたを誰も知らなかったのですから、最初の人、教祖様が天地金乃神様に会われるまで、そしておかげを受け

られるまで大変な苦勞されたのは致し方ないことだったのかも
しれません。

○

その教祖様が「あなた方もそのとおりにおかげが受けられます。」と仰っておられます。それは、私たちも教祖様のような苦勞、辛い思いをしなければおかげは受けられないということではありません。

なぜなら、天地金生神様のこと、神様のおかげのことは教祖様が「信心」という形で私たちに教えてくださっているからです。最初に先頭に立って道を開かれる方の苦勞は大変なことですが、その後続く人々は、先人が開かれた道を後から進ませていただければよいのです。ですから私たちも教祖様が開

かれた「信心の道」を、教祖様の後から歩ませてもらえばよいのです。それは教祖様だけではありません、苦惱され、苦難をなされ信心を伝えてこられた先人たちの後についてゆけばよいのです。

○

ただ、教祖様はじめ先人たちが開かれた道を進むにも、ただ進めばいいわけではありません。その道がどこにあるのか、どう進めばいいのか、「道に迷



倉敷市旧街道の道標
「金神」とあるのが「教祖広前」のこと

わずに進む」ようにしなければなりません。それを教えてくれるのが、教祖様の「御理解」であり、「お取次」です。

私たちは教祖様のような辛い思いをせずに、天地金乃神様のおかげの中に生かされていることを知っています。それは教祖様が私たちに信心をのこしてくれたからに他ありません。その教祖様ののこされた信心の道を、迷うことなく歩ませていただきます。

平成二十八年 越年感謝祭

平成28年12月31日(土)

午後1時30分

平成二十九年 元 日 祭

平成29年1月1日(日)

午後1時30分

教会 日 誌

平成28年8月から10月まで

8月5日 北海道教少年少女キャンプみどりのひろば。安平町早来、千歳市。5名参加。

8月16日 教会創立記念祭・布教功労者報徳祭。

8月17日 三代教会長玉置徳衛先生帰幽。

8月21日 三代教会長教玉置徳衛信貴大人葬儀式
教会葬執行（22日まで）

（関連記事と写真は前号に掲載）

8月26日 三代教会長十日祭。

8月30日 台風11号による大雨被害多数。

9月5日 三代教会長二十日祭。

9月10日 金光家先祖祭、副教会長参拝。

9月15日 三代教会長三十日祭。

9月14日 副教会長、金光教十勝教会長拝命。

写真 みどりのひろば

今年の「みどりのひろば」は災害をテーマに
災害体験施設での避難体験や地震体験、宮城県石巻教
会長先生の避難体験のお話を聞かせていただきました。



9月17日 札幌市、K家、二柱霊神式年祭。

9月17日 池田町ミニバスケット少年団合宿。
教会にて。

9月18日 札幌市、T家、例年霊祭。

10 月 23 日	10 月 16 日	10 月 14 日	10 月 9 日	10 月 6 日	10 月 2 日	9 月 25 日	9 月 25 日	9 月 24 日	9 月 22 日
網走教会大祭、 交流参拝。	釧路教会大祭、 交流参拝。	岩見沢教会長葬儀式、 教会長会葬参 拝。(15日まで)	道東地区教会連合会役員会、 北見教 会。教会長出席。	本部生神金光大神大祭、 みよ子先生 参列。	三代教会長五十日祭・合祀祭。	三代教会長四十日祭。	帯広市、I 家、 式年祭。	帯広市、M 家、 感謝祭。	秋季霊祭。

写真 三代教会長玉置徳衛先生五十日祭・合祀祭



生神金光大神大祭祭典次第

金光教十勝教会

- 先 祭員着席
次 拝 礼
次 神前拝詞奉唱
次 取次唱詞奉唱
次 祭主祭詞奏上
次 祭主玉串奉奠
次 天地書附奉体
次 参拝者代表玉串奉奠
次 金光大神賛仰詞奉唱
次 親神のよざしのままに斉唱
次 拝 礼
次 祭員退下
次 吉備舞奉納「紅葉さやかに」
〇〇 御神伝奉読・講師紹介
〇 教 話 網走教会長
菊川松次郎 先生

神人あいよかけよの生活運動

かみひと

願 い

御取次を願ひ頂き

神のおかげにめざめ

お礼と喜びの生活を進め

神心となつて人を 祈り

助け 導き

神人の道をあらわそう



KONKOKYO
金 光 教

♪親神のよざしのままに♪

- 一、親神の
わが生神
取次の
代々を経て
二、神からも
両方の
親神の
生神を
三、神のひれ
照り映えて
取次の
とこしえに
よざしのままに
金光大神
道立ちしより
今につづけり
氏子からも
恩人なりと
のらし給える
讃えまつらん
木綿崎山に
日の光なす
道の霊光を
仰ぎまつらん

食 前 訓

食物はみな人の命のために

天地乃神のつくり

与え給うものぞ

何を食うにも飲むにも

ありがたく頂く心を忘れなよ

食 後 訓

体の丈夫を願え

体をつくれ

何事も体が元なり